

母子保健事業日程

場 所 保健センター
持 ち 物 母子健康手帳

実施日	種 別	対 象	受付時間
7月6日(月)	1歳6ヵ月児健診	平成25年11月～12月出生児	午後1時～2時
8日(水)	幼児相談※1	1歳以上の幼児	午前9時30分～11時
9日(木)	乳児相談※2	1歳未満の乳児	
13日(月)	乳児健診	平成27年3月3日～4月13日出生児	午後1時～1時30分
16日(木)	2歳児歯科教室	平成25年6月～7月出生児	午前9時30分～10時
22日(水)	離乳食教室	5～7ヵ月の乳児	午前9時45分～10時
24日(金)	5歳児健診	平成22年6月～7月出生児	午後0時45分～1時

※1ことばの相談、栄養士による食事相談も行っています。
※2助産師による母乳相談、栄養士による離乳食相談も行っています。

予 防 接 種 日 程

7月の予防接種はありません。

成人保健事業日程

お気軽にご相談ください。

実施日	種別	受付時間	場 所
7月6日(月)	こころの相談	午前9時～11時	保健センター

※「こころの相談」は臨床心理士が相談に応じます。事前に予約が必要です。☎64・7830(なやみゼロ)

健康あんぱち 21

『夏に注意したい食中毒』

私たちの生活で身近に起きている食中毒は、細菌性食中毒が全体の半分以上を占めています。細菌は高温多湿な環境を好むことから、細菌性食中毒は梅雨から夏にかけて多く発生します。

特に夏に多い食中毒菌は「腸炎ビブリオ」と「腸管出血性大腸菌O-157」です。腸炎ビブリオは、魚介類、特に温度管理の必要な刺身やすし、輸入魚介類などが感染源となりやすいです。腸炎ビブリオは海水中で繁殖し、水温が15℃を超えると急増するため、7～9月に多発します。魚介類に使った包丁やまな板から他の食品に二次汚染するケースも多いので注意しましょう。

また、腸管出血性大腸菌O-157も夏に多く発生します。O-157は比較的熱に弱い菌なので、75℃1分以上の加熱をすれば死滅します。この加熱は、全ての食中毒菌に有効なわけではありませんが、腸炎ビブリオやサルモネラには十分に効果があります。

これからの時期、食品の取り扱いには十分に注意を払い、生食を避けるなどをして食中毒の予防に努めましょう。

